



2022年3月4日

各 位

会 社 名 ローム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
CEO 松本 功
(コード:6963、東証第一部)
問合せ先責任者 広報 IR 室室長 永吉 秀成
(TEL.075-311-2121)

業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年10月28日に公表した業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1 業績予想の修正について

(1)2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 440,000	百万円 63,000	百万円 66,000	百万円 51,000	円 銭 519.68
今 回 修 正 予 想 (B)	450,000	69,000	75,000	60,000	611.38
増 減 額 (B - A)	10,000	6,000	9,000	9,000	-
増 減 率 (%)	2.3	9.5	13.6	17.6	-
(参考)前期実績 (2021年3月期)	359,888	38,488	40,672	37,002	376.24

(2)修正の理由

世界経済は、新型コロナウイルス感染症が世界各地で蔓延しており、依然として不透明な状況が続くものと思われま。エレクトロニクス市場においては電子化のニーズの高まりやライフスタイルの変化等により、全体として好調に推移しておりますが、世界各国によるロシアへの経済制裁など、地政学リスクには引き続き注視する必要があると考えております。

このような状況の中、2022年3月期においては、自動車関連市場や産業機器関連市場が引き続き好調に推移することにより、売上は前回の予想を上回る見通しです。

営業利益についても売上増加による限界利益の増加や売上高固定費比率の改善などにより、前回予想を上回る見通しです。加えて、前回予想の想定レートより円安に推移する見通しによる為替差益の発生もあり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前回予想を上回る見通しです。

これらを考慮し、2021年10月28日に発表いたしました通期業績予想を上記の通り修正いたします。

尚、第4四半期の為替レートは、1米ドル=115.34円を前提としております。

2 配当予想の修正について

(1) 予想の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年10月28日発表)			-	85円00銭	160円00銭
今回修正予想			-	110円00銭	185円00銭
当期実績	-	75円00銭			
前期実績	-	75円00銭	-	75円00銭	150円00銭

(2) 修正の理由

当社は、安定的な配当の継続を基本に、連結配当性向 30%以上を目安としております。株主の皆様からの期待に沿うべく、期末の1株当たり配当金につきまして、通期連結業績予想の修正を踏まえ、110円に修正いたします。これにより1株当たりの年間配当金は、中間配当金75円と合わせて185円となります。

<業績等の予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上